



働き方改革を進める＜情報システム部・総務部向け＞

働き方改革導入ハンドブック

ReiWorQ

目次

■ はじめに

■ 働き方改革とは

■ 働き方改革「環境編」

- ・ テレワーク
- ・ 在宅勤務
- ・ モバイルワーク
- ・ サテライトオフィス
- ・ フレックスタイム制
- ・ 裁量労働制

■ 働き方改革「ツール編」

- ・ RPA
- ・ オンラインストレージ
- ・ チャットツール
- ・ WEB会議サービス
- ・ 勤怠管理ツール
- ・ 業務管理ツール

■ 働き方改革「制度編」

- ・ はじめてテレワーク
- ・ テレワークデイズ

■ 働き方改革導入事例

- ・ A社
- ・ B社

■ スターティアレイズのソリューション「ReiWorQ」

- ・ Robo-Pat DX
- ・ WinActor
- ・ DX Suite

■ おわりに

はじめに



「働き方改革」は、日本企業が直面している少子高齢化に伴う生産人口の減少や、働き方の多様性などの変化に対応できるとして注目を集めています。

2019年4月には、働き方改革関連法案が施行され、大企業から中小企業まで多くの企業では、働き方改革を経営課題の一つに位置づけた、新たな取り組みが始められています。

働き方改革では、テレワーク・在宅勤務・ノマドワーカー・サテライトオフィスなどのワードを耳にしたことがある方も多いでしょう。

しかし、何となく言葉は理解していても、何から取り組めば良いのか気になる方や、残業時間を削減する以外の方法が分からない方もいるかもしれません。

本資料では、働き方改革とは何かを説明し、「環境」「ツール」「制度」の3つの視点から、働き方改革を自社に導入する方法をご紹介します。

働き方改革とは

■働き方改革とは

首相官邸・厚生労働省によると、「働き方改革」とは一億総活躍社会の実現に向け、日本企業の労働環境を見直し、労働生産性を改善する取り組みのことを指します。

■実施する理由

日本の人口は2008年をピークに減少傾向のため、人口減少にともなう労働力不足の解消が目的です。労働人口の増加や出生率の向上に加えて、労働生産性の向上を目指す取り組みとなります。

■課題解決に向けた3つの柱

働き方改革の実行計画では、「長時間労働の是正」「正規・非正規の不合理な処遇の差の解消」「多様な働き方の実現」を3つの柱として、日本の労働制度や働き方の課題解決を図ります。





働き方改革「環境編」

環境 ①テレワーク

テレワーク

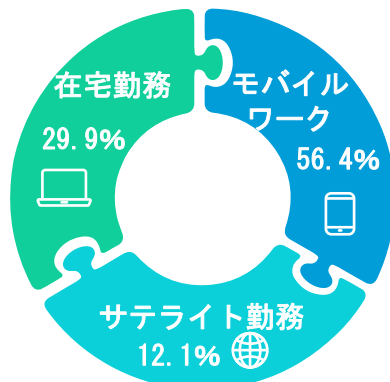
テレワークとは、「Tele（離れた場所）」と「Work（働く）」を組み合わせた造語です。

ICT（情報通信技術）を活用して、時間や場所を自由に選んで働く勤務形態のことです。

出張や外出の多い職業、妊娠や育児、介護、配偶者の転勤、身体障害や怪我など、通勤が困難な方に適しています。

勤務形態は、3つです。

- ・在宅勤務
- ・モバイルワーク
- ・サテライト
オフィス勤務



出典：総務省「平成29年通信利用動向調査」



< 企業側 >

- 労働力の確保
- BCP（事業継続計画）対策
- 労働生産性の向上
- オフィスコスト削減

< 従業員側 >

- ワークライフバランスの実現
- 通勤・移動時間の短縮
- 生産性・創造性の向上



- セキュリティリスク
- 労働実態の不可視
- コミュニケーション不足

環境 ②在宅勤務

在宅勤務

在宅勤務はテレワークの1つの形態で、オフィスに出勤せず業務を行います。

企業に勤務する被雇用者の「雇用型」と個人事業者や小規模事業者「自営型」に分類されます。

在宅勤務に適している業務は、研究・開発、企画や経理などの管理業務、IT関連、クリエイティブ関連などが挙げられます。

1人で完結する成果で判断できる業務や、従業員の裁量に任せる要素の大きい業務などに適していると言えます。



< 企業側 >

- 優秀な人材の定着
- 障がい者の雇用促進
- オフィスコスト削減

< 従業員側 >

- 居住地に左右されない
- 仕事と家庭との両立が可能
- 時間を有効に活用できる



- 各種ルール設定の必要性
- 長時間労働につながる懸念
- コミュニケーションの減少
- セキュリティリスク

環境 ③モバイルワーク

モバイルワーク

モバイルワークは、テレワークの1つの形態で、スマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどを使用し、勤務場所にとらわれずに働く勤務形態のことです。

勤務場所が顧客先など、オフィス以外の場合は、オフィスに出勤せず直行直帰できます。

営業職など外出が多かったり、移動が長時間であったりする場合に多く取り入れられています。

空港や駅、コワーキングスペース、カフェなど、場所を問わずに業務ができるため、出張が多い職種にも適しています。



- 場所にとらわれない
- 外出先へ直行直帰ができ時間を有効活用できる
- 交通費・設備費など経費が削減できる
- 隙間時間などを活用し自分のペースで勤務できる



- セキュリティリスク
- 環境整備が必要
(オンラインミーティング等)
- 労働実態の不可視
- 長時間労働につながる懸念

環境 ④サテライトオフィス

サテライトオフィス

サテライトとは、英語で「衛星」のことです。

サテライトオフィスとは、企業の本社を中心として、衛星のように離れた場所に設置されたオフィスのことを指します。

サテライトオフィスは、主に2つに分類されています。

①勤務者が遠隔勤務できるよう通信設備を整えた、オフィススペースやレンタルオフィス

②都市に本社を構える企業が郊外に設置したオフィス、または郊外に本社を構える企業が都心に設置したオフィス



- 移動時間の削減
- 集中できる
- プライベートの時間増加
- クライアントの要望にタイムリーに対応できる
- 環境が変わるためリフレッシュできる



- オフィス設置の労力
- 拠点間の格差
- コミュニケーション不足
- 自己管理の必要性
- 長時間労働につながる恐れ

環境 ⑤フレックスタイム制

フレックスタイム制

フレックスタイム制とは、変形労働時間制の1つで、業務の開始と終了時刻を従業員に任せる勤務形態のことです。

就業規則で定められた一定の期間で、総勤務時間を判断するため、1日当たりの勤務時間の縛りはありません。

一定期間の勤務時間が所定時間に満たない場合は、一定のルールのもと、翌月に加算することが可能です。

ワークライフバランスを考慮したり、繁忙期・閑散期などの業務量の調整をしたりと、柔軟な働き方ができる勤務形態です。



- ワークライフバランスの向上で従業員の満足度に繋がる
- 残業や労働負荷の削減
- 通勤ストレスがない
- 優秀な人材の定着
- 経費削減ができる



- クライアントと時間が合わず商談機会の減少
- 同僚とのコミュニケーションや他部署との連携が難しい
- 遅刻や早退が分かりづらく勤怠管理が困難

環境 ⑥裁量労働制

裁量労働制

裁量労働制とは、業務の進め方や時間配分が従業員に任せられている制度で、「みなし労働時間制」とも言われています。

実際の勤務時間をカウントするのではなく、所定の時間分勤務したとみなす点が、フレックスタイム制と異なります。

みなし時間が「1日8時間」の場合、実労働が5時間でも10時間でも、勤務時間は8時間となります。

「専門業務型裁量労働制」と「企画業務型裁量労働制」の2つの分類され、成果を求められる職種で多く取り入れられています。



< 企業側 >

- 人件費の管理がしやすい
- 社員の生産性が上がる
- 勤務時間ではなく「成果」で評価できる

< 従業員側 >

- 仕事の自由度が高まる
- 勤務時間を短縮できる



- 長時間労働や過度な業務量を要求される恐れ
- 残業代が支払われない
- 高い自己管理能力が必要



働き方改革「ツール編」

ツール ①RPA

RPA

「RPA (Robotic Process Automation) 」とは、ロボットが業務プロセスを自動化すること。

コンピューター上で人間が行う業務プロセスをロボットに記憶させ、業務を効率化・自動化するソフトウェアです。

データ入力や照合などの単純作業や、ルールに沿って行う定型業務など、プロセスがマニュアル化されている業務に向いています。

複数のPCと繋がる専用サーバー上でロボットを運用する「サーバーコントローラー型」と、既存のPCにソフトウェアをインストールして運用する「スタンドアロン型」があります。



- 従業員はより付加価値の高い業務に集中できる
- ヒューマンエラーを予防
- 生産性・業務スピードの向上
- 人件費の削減
- 労働力不足の解消
- 24時間の稼働が可能



- コストがかかる
- システム障害時の対応
- 情報漏洩のリスク
- 複数システムと連携時誤作動や使用不可が発生

ツール ②オンラインストレージ

オンラインストレージ

オンラインストレージとは、インターネット上に設置されたストレージ（外部記憶装置）容量のことです。

ハードディスクなどを用いずにインターネット経由で記憶領域にアクセスするため、あらゆる端末からデータを利用できます。

インターネット環境があれば、どこからでもファイルの閲覧・コピー・変更・修正・保存・削除などの操作が可能です。

1つのファイルを複数人で共有して、閲覧・編集をしたり、バックアップ先として利用したりと幅広く活用できます。



メリット

- ファイル共有が簡単
- 外出先など場所を問わずにデータにアクセスができる
- データ容量の拡張性が高い
- 大容量ファイルの共有が可能
- 自社サーバーの管理・運用が不要



デメリット

- インターネット環境が必要
- カスタマイズしにくい
- デバイスごとにセキュリティ対策が必要
- システム障害時の業務停止

ツール ③チャットツール

チャットツール

チャットツールは、ビジネス利用に特化したコミュニケーションツールのことです。

チャットは、メールと比較して即時性が高く、文章を簡略化できたり、グループ間の情報共有に適していたりする点が特徴です。

チャットツールの基本機能は、「チャット」「グループ作成」「ファイル共有」「タスク管理」の4点です。

チャットツールはビジネス利用できる機能が標準搭載され、セキュリティ面が重視されている点などが、個人向けチャットツールとは異なります。



メリット

- リアルタイムの情報共有
- 複数人と同時にコミュニケーションが取れる
- チーム参加意識の高まり
- 多様な働き方の推進
- 案件進行の可視化
- 生産性の向上



デメリット

- 対面コミュニケーションの減少
- 情報漏洩のリスク
- 教育コストがかかる
- 過度なコミュニケーションによる非効率化

ツール ④WEB会議サービス

WEB会議サービス

Web会議サービスとは、インターネットを通じて音声や映像、データなどを共有して会議を行えるシステムのことです。

パソコンやモバイル端末に、Web会議専用ソフトウェアをインストールすると、インターネット環境があればどこでも利用が可能です。

画像と音声共有される基本的な機能の他には、画面共有や会議の録画、共有できるホワイトボード利用など、サービスにより様々な機能があります。

複数拠点での打ち合わせや、クライアントとの商談など、幅広く利用できます。



- 移動時間・交通費の削減
- 画面共有で効率化
- 複数拠点を同時に話せる
- 情報共有のスピード向上
- 多様な働き方の推進
- 会議室など設備準備が不要
- 低コストで導入できる



- インターネット環境が必要
- 安定した通信速度・音声品質を整える必要
- 実際の会議と比較して雰囲気把握しにくい

ツール ⑤勤怠管理ツール

勤怠管理ツール

勤怠管理ツールは、従業員の勤務時間を把握でき、スケジュールの共有や現在の勤務場所、在席状況などの情報を管理できます。

年休の取得状況や長時間勤務の場合のアラートなど、さまざまな機能が備わっています。

変形労働・フレックス・裁量労働など、幅広い勤務形態に対応しているツールもあり、所属や雇用形態ごとに細かく設定ができます。

スマートフォンからも利用できるツールも多く、指紋認証や生体認証を活用したツールでは、高い不正防止効果を実感できるでしょう。



- 正確な勤怠管理ができる
- スマートフォンから申請でき利便性が良い
- コンプライアンス遵守
- 多様な働き方の推進
- 給与計算がシンプルに
- 他ツール連動で管理の簡略化



- 導入コストがかかる
- 不正打刻やデータ改ざんなど不適切な利用の可能性
- 多機能ツールの場合は機能を使いこなせない可能性

ツール ⑥業務管理ツール

業務管理ツール

業務管理ツールは、プロジェクトの進捗やタスク管理ができ、チームで業務の状況を共有することが可能です。

期限や担当者などを紐づけたり、色分けができたりするツールも多いので、優先度やカテゴリー分けなどに役立ちます。

ツールの機能や活用方法によっては、コミュニケーションツールとして利用することも可能なため、チームで使用するツールを最小限にしたい場合には検討の余地があるでしょう。

タスクを可視化しチームで共有することで、抜けモレを予防し、効率化を図ります。



- 情報共有のスピード向上
- タスクの可視化による抜けモレの予防
- テレワークの浸透
- 他拠点や他社の関係者との情報共有がしやすい
- クラウド管理ができる

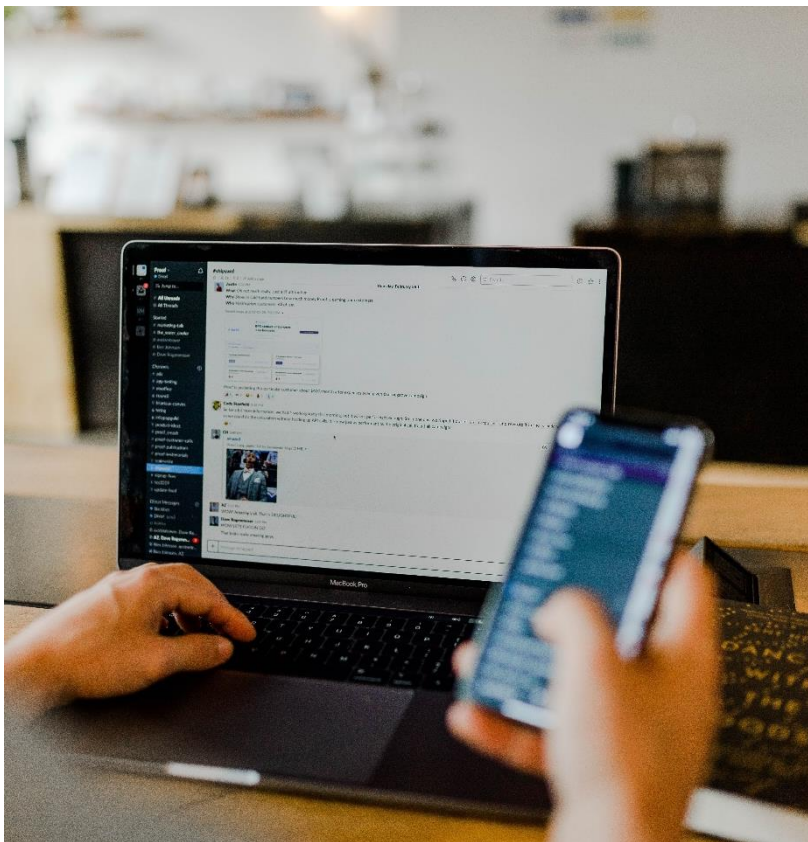


- ツール運用ルールの設定
- デバイスごとにセキュリティ対策が必要
- システム障害時の業務停止
- コストがかかる



働き方改革「制度編」

制度 ①はじめてテレワーク



■はじめてテレワークとは

公益財団法人東京しごと財団の「はじめてテレワーク」は、テレワークを初めて導入する東京都の企業が利用できる助成金制度です。

■対象企業

- ① 都内勤務の常時雇用者が2～999名の企業、雇用者は6カ月以上の継続雇用であること
- ② 就業規則にテレワークに関する規定がない
- ③ 東京都「2020TDM推進プロジェクト」に参加

■対象事業

- ① テレワーク環境の構築
- ② 機器・関連ソフト等導入費用
（「テレワーク導入プラン」より選定）
- ③ モバイル端末等整備費用
- ④ 就業規則へのテレワーク制度整備
- ⑤ テレワークに関するコンサルティング費用

制度 ②テレワークデイズ



■テレワークデイズとは

「テレワーク・デイズ」とは、全国でテレワークの一斉実施を呼びかける国民運動です。

働き方改革の促進や、東京オリンピックで予想される交通混雑の緩和対策として期待されており、東京オリンピックの開会式が行われる2020年7月24日を「テレワーク・デイ」と定めています。

総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府が、東京都や関係団体と連携して実施しています。

■参加方法

テレワーク・デイズへは、3つの方法で参加できます。

- ① 実施団体として参加
- ② 特別協力団体として参加
- ③ 応援団体として参加



導入事例

導入事例①



A 社

本社 : 広島県

事業内容 : 食品産業総合機械・プラン
ト設備・食品の製造販売

従業員数 : 1032人 (2700人連結)

ストック有給の有効活用

- 年10日、最大30日まで積立が可能な「ストック有給休暇」を設定。
- 家族の看護や介護、ボランティア、不妊治療など、様々な目的で活用でき、最大10日まで育児のために利用ができます。

自作ポスターで育休普及

- 育児休職取得を呼びかけるため、14種類のポスターを自社制作し、社員食堂や事務所の入口などに掲示。
- 新入社員研修をはじめ多くの場で、女性だけではなく男性にも育児休職を取得するよう啓蒙。
- 男性の育児休職者は、約10年間で39人へ。

祖父母世代の育休制度

- 育児関連休暇としては、従来より「配偶者出産休暇」を設けている。
- 女性の活躍推進により、祖父母のサポートが重要であるとの考えから、「イクじい・イクばあ休暇」を新設。
- 配偶者または祖父母は、子・孫の出生から10日以内に3日間の特別有給を取得。

導入事例②



B社

本社：東京都

事業内容：ネットワーク

ソリューション事業

従業員数：7572人（連結）

オフィス改革で環境整備

- 2007年より、オフィス改革として、ペーパーレス化やフリーアドレスを導入。
- 2010年の本社移転に伴い、様々な目的で利用できる会議室を複数設置し、セキュアな環境構築を推進。

業務時間を「見える化」

- テレワークを実施する従業員の勤怠情報を把握するため、管理ツールを独自開発。
- 同システムでは、勤怠ログをExcel・PDF・CSV形式で出力・保存、従来システムへ入力が可能。
- チャットツールや仮想デスクトップ環境を活用し、業務時間の見える化に成功。

テレワークを本格運用

- 2017年よりテレワークを本格導入。利用頻度や利用時間の上限を設けず、自宅や実家、全国100カ所のサテライトオフィスでの勤務を可能に。
- 1日の成果目標の事前設定・上司承認の体制を構築し、成果を明確に把握できる仕組みを作成し、オフィス勤務時と同一指標で評価を実施。

スターティアレイズのソリューション(ReiWorQ)

ReiWorQ

Reincarnate

生まれ変わらせる



Work

仕事



Quality / **Q**uest / **Q**uick

良質・追求・速い

 RoboTANGO

初心者向け
RPAツール

 RPA
Robo-Pat DX

現場向け
RPAツール

 WinActor®

業務システム向け
RPAツール

 DX Suite

大量の書類業務向け
AI-OCRツール



次世代型RPAのRoboTANGOは
1つのライセンスを複数の端末で
利用可能！より効率的にロボッ
トを作成・利用できます！

特徴

RoboTANGOは、デスクワークにおける単純作業を自動化することができるため、手作業よりも正確かつ効率的に行うことができます。

また24時間365日休みなく稼働できるため、働き方の改善や生産性の向上に期待できます。させることで、あらゆる業務を自動化することが可能となります。

1 複数のPCから利用が可能

1つのライセンスを切り替えて、**複数のPC端末**でご利用が可能です。

2 録画機能で簡単ロボット作成

自動化させたい業務の**操作を録画する方法**で、ロボットを作成することができます。

3 ご自身でロボット作成ができる

導入後までしっかりと**サポート**いたします。
お客様ご自身でロボットを作成できるまで、**伴奏フォロー**※します。

操作画面（ロボット作成画面）



※「it takes two to tango」と絡め、「共に奏でる」という意味合いで「伴奏フォロー」という言葉を使用しています。



特徴

通常、人がシステム操作を行う場合はPC上に表示されている情報を目で認識しマウスとキーボードを使って適切な場所にデータを入力したり、保存や印刷などの処理を行っています。

ロボパットは高度な画像認識機能により人の目の代わりとなってPC上の画面を認識し、対象となる画面のマウス・キーボードの操作を覚えさせることで、あらゆる業務を自動化することが可能となります。

1 導入が簡単

中小企業でのご利用をターゲットに開発されたものであるため、**パソコンにインストールするだけで簡単に**ご利用いただけます。

2 パソコン1台～ご利用可能

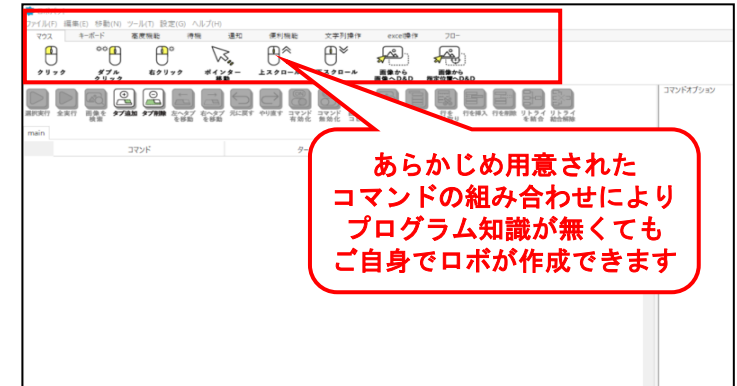
パソコン1台からの部分的な導入からはじめられ、**料金設定もご利用台数単位**なので、必要に応じたミニマムスタートが可能です。

3 ご自身でロボ作成ができる

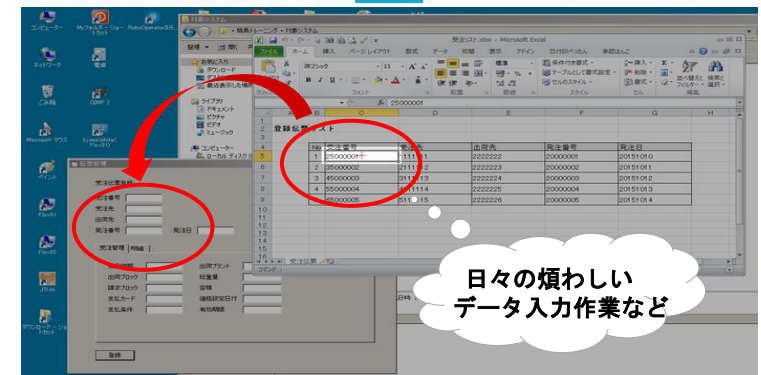
プログラム知識がなくても、あらかじめ用意された**コマンドの組み合わせにより、簡単に自動処理ロボを作成**することができます。

業務自動化のためのロボットをご自身で作成することが可能！
自動化できる業務の棚卸しからはじめてみませんか？

操作画面（ロボ作成画面）



パソコン上の業務処理をロボット作成で自動化！





導入数日本一のRPA

自動化できる業務の棚卸しから
はじめてみませんか？

特徴

フローチャート画面でドラッグ&ドロップ、クリック操作で編集可能。自動生成されたシナリオをグルーピングしたり、条件分岐を追加したりして、自動化する業務に合わせたきめ細やかなシナリオを編集できます。

記録したシナリオをそのまま実行することも可能ですが、動作条件を編集すると、他の場面でも使えるシナリオにすることができます。専用エディタによるGUI操作はとても簡単です。

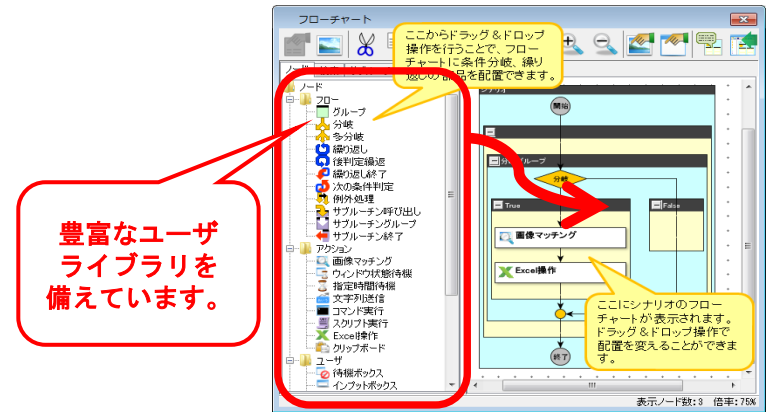
- 1 あらゆるアプリに対応！
- 2 特別な環境構築は不要！
- 3 ご自身でロボト作成ができる

Windowsで操作可能なソフトに対応。
IEやOffice製品、ERP、OCR、電子決済、個別の業務システムまで
あらゆるアプリケーションの操作が可能。

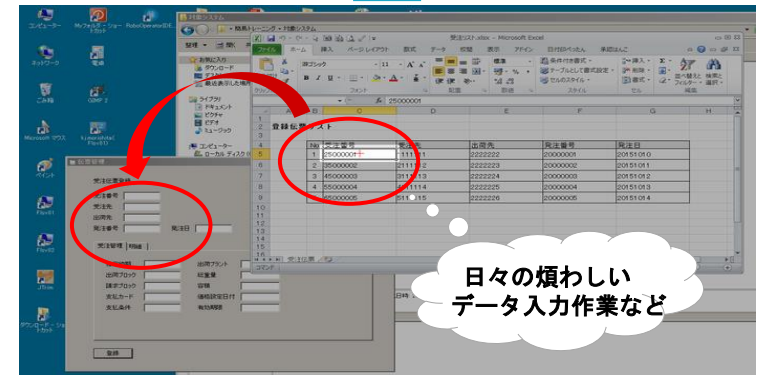
PCへインストールするだけですぐに使用可能です。
インストール作業も簡単です。

WinActorは**操作を録画し、自動でシナリオを生成**するのでプログラミングの知識は不要です。手動でのシナリオ作成も可能です。

操作画面（ロボ作成画面）



パソコン上の業務処理をロボト作成で自動化！



※WinActor®はNTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。



識字率95%以上のAI-OCR

大量の書類がある業務を
見直しませんか？

特徴

従来のOCRでは「文字認識の精度が低い」「読取位置の調整が必須」
「チェック作業に時間がかかる」といった非効率な業務が発生する課題がありました。

AI-OCRは、従来のOCRにAIのDeep Learning（ディープラーニング）機能を取り入れることで、手書き文字の認識精度が向上し、非定型書類の処理・チェック作業の効率化を実現できるようになりました。

1 高精度な文字認識

様々なユーザーの**手書き文字**を高精度でデジタルデータ化。**乱筆文字**も高い精度で読み取りが可能。Deep Learningは使うほど賢くなります。

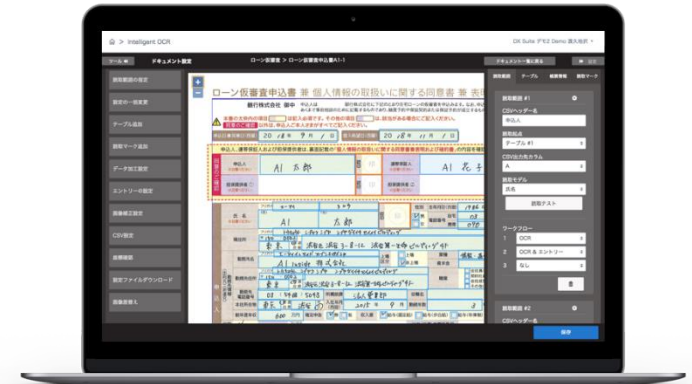
2 簡単な操作

読み取りたい範囲を指定するだけで、何枚でも自動認識。**解像度や傾きの補正、文字以外の除去**などを、バックグラウンドで自動処理します。

3 ワークフロー機能

データ登録作業の**AIサポート**、データ確認サポート、データ登録や確認の複数回チェックのサポートなど、データチェックの基本機能が充実。

操作画面



高精度の文字認識！



おわりに

「働き方改革」が浸透し、多くの企業で業務効率化をはじめとする、様々な取り組みが進められています。

働き方改革を自社で推進していくためには、個人の努力だけでは限界があるため、組織として積極的に取り組んでいく必要があります。

まずは「環境」「ツール」「制度」の3つに焦点を当てて、検討してみるとよいでしょう。

企業の規模や事業内容などによって、取り組み方は異なるため、他社の成功事例などを参考に、勤務環境や社内制度の見直しを図ることも有効です。

従業員にとって働きやすい企業を目指して、自社に最適な「働き方改革」を見つけてみてください。



働き方改革を進める＜情報システム部・総務部向け＞

働き方改革導入ハンドブック

お問い合わせ

スターティアレイズ株式会社

〒163-0919
東京都新宿区西新宿2丁目3-1 新宿モノリス19F
info@reiworq.com

ReiWorQ 専用サイト
<https://reiworq.com/>



本資料についてのお問い合わせ、ReiWorQ「RPAソリューション」に関するご相談は上記までご連絡ください。

本資料の無断複製（コピー、スキャン等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。